

プロジェクト「(仮称)旅と文化の博覧会2021※」

参考資料1-1
(委員提案による作成資料)

※博覧会の名称については公募等を検討

山口県連携都市圏域ビジョン 5年目“2021年”「(仮称)旅と文化の博覧会」の開催

レガシー:歴史と文化が、旅でつながる。魅力的な中小都市が連携する圏域を次世代へ受け継ぐ。

<博覧会のKPI> ①交流人口:1,000万人/6か月 ②雇用創出100人/年間

× 1か所での大規模・仮設会場整備の博覧会

○ 圏域内の各地域資源を巡る博覧会(例:長崎さるく博'06)

← 4年目 2020年 プレイベント実施(東京オリンピック・パラリンピック2020をはじめ2020年のビックイベントに対する情報発信)

山口県連携都市圏域ビジョン 1～4年目 博覧会の開催に向けた全力の磨き上げ ～地域・経済界・行政等が一体～

アクション:2021年までに、各市町で一つ以上、来訪者目線で“ピカイチ”の観光コンテンツを磨く。

重要 観光コンテンツ部門

歴史・文化資源、生活文化

- ・日本遺産、世界遺産、産業遺産
- ・伝統工芸、伝統芸能
- ・集落の伝統、日本の生活文化
- ・現代アート、芸術、アニメ など

豊かな自然資源

- ・瀬戸内海、日本海、中国山地
- ・温泉(温泉文化)
- ・秋吉台ジオパーク、萩市の阿武火山群 など

2
市
町
上
の
連
携

新たな観光資源

- ・体験型のコンテンツ
- ・スポーツツーリズム
- ・アートツーリズム など

食

- ・旨いもの・農林水産物の供給体制の強化、飲食店等の起業出店支援、料飲組合や商店街等の取組強化、特産品やメニュー開発、道の駅の機能強化 など

交通・移動部門

- ・周遊パスポートや回遊性の向上の取組
- ・二次交通等の機能強化や、関連産業の人材育成
- ・自動運転など新しい技術や社会実験の場 等

みんなでおもてなし部門

- ・メニュー等の多言語対応、Wi-Fi整備、トイレの洋式化促進、多様な宿泊ニーズへの対応、ボランティア人材の育成、地域イベント実施、各種研修 等

広報・営業部門

- ・圏域内外への情報発信、チケット販売や商品企画、首都圏や海外における情報発信拠点の設置、観光案内板、サインの整備 等

平成29年度 博覧会準備室設置、コンセプト・テーマ・プランの策定、官民一体の実行委員会立ち上げ など